

## 伊予市特別職報酬等審議会

日 時：平成27年1月21日（水）午前10時～

場 所：第3委員会室

出席者：井上委員、児玉委員、對尾委員、宮崎委員、山本委員（五十音順）  
事務局（海田、空岡、渡邊）

1. 開会
2. 各委員に特別職報酬等審議会委員の辞令を交付
3. 市長あいさつ
4. 委員紹介  
公共的団体等の代表者 井上 猛文、児玉 武志、  
對尾 眞也、徳田 和敏（五十音順・敬称略）  
公募による者 宮崎 光男、山本 知和子（五十音順・敬称略）
5. 会長選出
6. 会長あいさつ
7. 審議会提出資料説明  
ア 議員活動状況、特別職及び一般職の給与改定状況について  
イ 愛媛県内市町の特別職の給料及び議員の報酬の状況について  
ウ 議会運営費について

市長の諮問に応じ、議員等の報酬並びに市長及び副市長の給料の額について審議を行う。

（事務局）【資料に基づき説明】

（会 長） 先ほど事務局から現状の報酬額並びに県下の市町との比較等、詳細にわたり説明がありましたが、委員の皆様からの意見・質問等、よろしく願います。

（委 員） 23年度に自主的に減額をした市長、副市長、教育長、この減額に際しての背景、理由等を教えていただきたい。また、平成27年度から職員の給料について、何%引き下げになるのか教えていただけますか。総合的な見直しで27年度から給料を何%減額するのか。

(会 長) 平均2%減額です。

(事務局) 独自減額については市長の公約ではありませんが、新武智市長が就任した際に、自主的に副市長、教育長と申し合わせて減額をすると決定し、それが現在まで続いています。公約ではなく自分の信念、信条で減額措置をしている状況です。

23年度の答申案との違いについては、その当時、減額の答申では86万9,000円と副市長が67万3,000円の答申でしたが、市長が、財政状況や周りの状況なども判断し、更に引き下げたと聞いています。このときは、今の武智市長ではありません。

また、今現在の独自削減の10%、7%、5%の自主削減については、平成25年、現武智市長が就任してからですが、副市長などとも相談、財政状況等も考え、自主的に10%、7%、5%のカットをすることに決定したようです。

(委 員) 13ページの政務調査費、例の全国的に報道された県会議員でいろいろな問題になっていますが、伊予市では、政務調査費が228万円とありますが、これはトータルですか。

(事務局) これはトータルの当初の予算額で、1人1万円、月額1万円です。

(委 員) 例のマスコミで報道された県議会議員と金額が大きく違いますね。伊予市は1万円ですか、1人、月額1万円。

(事務局) はい、各市によってもそれぞれ違います。

(委 員) 金額を比べてみると差がありますね。

(事務局) 県内でも多いところでは月額10万円以上のところもあり、かなり違っています。また政務調査費の支給がない市もあります。

(委 員) 報道で話題になった県議会議員は何百万とか聞きました。市と県では違うことは理解していますが、全然違うのですね、わかりました。

(事務局) 市と違い、県議会議員になると高くなります。また、調査費を全額は使わない議員もいます。調査費は、領収書添付で最終的に精算します。

(委員) 年間にすると12万ですね。

(委員) 12万って大きい。私は、大きいと思います。

(会長) 審議の内容は、特別職と議員の報酬です。審議の順番として、市長、副市長、教育長の特別職からまず審議を行い、次に議員の報酬の審議を行うという順に進めたいと思います。

まず特別職について、周辺地域の状況から見ると、大変努力をしているように見えます。

先ほど自主的にカットを実施しているということでしたが、審議する額は、カット前の額を審議します。減額前の額が適正かどうか。

ここ3年は据え置きとの説明もありましたが、それも含めて意見を頂戴したいと思います。

(委員) 特別職は、市長、副市長、教育長、いずれも現場は相当厳しい職務でしょうから、本来ならば、この給料は民間に比べて相当安いと思います。

ただ、行政運営の中で利益を追求するという形はなかなかとれない仕組みですし、地域や住民のために努力するということは当然多々あることですから、そこも考えないと。

また、引き下げるというのも、資料の中に愛媛県下の人口や財政の状況など、いろいろなデータがあり、順位なども見比べると、本来ならばもっと市長等は給与があってしかるべきだと思うわけですし、現在、市長等は自主的な減額をしていますので、今の状況では下げるといふ方向にはならないのではないかと感じています。

(会長) 下げる方向にはならない、引き上げも難しく、ここは据え置くということではよろしいですか。

(委員) 自主減額しているのを勘案すれば、据置でいいのではないのでしょうか。

(委 員) 特別職の月額給料は、当然、期末勤勉手当にも影響が出るだろうと思いますが、退職金はどうでしょう、退職金には影響しないのですか、それとも何らかの影響が出ますか。

(事務局) 退職金は、月額給料を基本に決まった割合を掛け合わせます。割合は、伊予市で決めているわけではなく、他の市町と組合員になっている愛媛県市町総合事務組合というところが割合を決め、退職金を払っています。その割合に月額給料を掛けますので、月額給料が変わると、退職金の額も変わります。

(委 員) なぜ組合なのですか。なぜ伊予市独自ではないのですか。

(事務局) 退職金については、市町の金額や負担金などを統一していくということで組合に加入しています。大きな市は組合に入っていないところもあるようです。加入していないところでも、組合に準拠した割合を決めているようですが、組合の割合よりも高いところもあるようです。

(委 員) それは退職金で給料は関係ないですね。

(事務局) 給料とは関係ありません。

(委 員) なぜ退職金だけそういう組合に入っているのですか。

(事務局) 統一した形で退職金等を出していくということで加入したようです。

(委 員) 恐らく各市それぞれ事情があり、いろいろな事態を考えて加入していると思いますが。

(事務局) それぞれで決めてしまったら本当にばらばらになってしまいます。

(委 員) 今、財政力指数や経常収支、実質公債費の比率などの説明がありましたが、伊予市の状況を見れば、決して財政的に余裕があるわけではない数字が並んでいますので、下げるという理由もないわけですが、上げる理由もないという気がします。

先ほどの意見のように、この財政状態から見ても、現状維持、現行のままがベターであると思います。

(委員) 仮に市の財政を家計と考えた場合、入ってくる金額がある程度決まっているから、市長、副市長、教育長には、少し我慢してください、減らないだけでもいいと思うのです。入ってくる金額が減るのであれば、家計で考えれば、主人の小遣いも減らします。特別職の仕事は大変ですが、このまま現状維持がよいと思います。

(委員) 資料ではいろいろな数字がランキングされていますが、それを見ても大体順当なランクであるという気がします。

そして上げるという議論は、今の状況からはどうかということでした。また、お二人の委員から下げる要素もなく、現状維持と発言されたと思いますが、私もそれで妥当だと思います。

(会長) 委員の皆様には、据え置きという意見をいただきましたが、私の個人的な意見を申しますと、現在、農協のほうに勤務させていただいておりました、今年については米価が異常に引き下がりました。30キロ一袋で1,500円程度引き下がっております。今日の新聞紙上に載っておりますように、果樹についても非常に悪い。災害もあり、非常に風が強かったということで果皮傷害も出ている。野菜についても昨年度の夏は非常に悪い状態でした。年末にかけて、レタス等は若干持ち直しましたが、すべての面において悪く、第1次産業従事者、農協の組合員、農家の方から見ると、少しでも特別職の給与が上がったということが表に出てくると、非常にイメージ的にも影響が出てくるのではないかと、金額的に多くなくても、いろいろな面で感情的なものが出てくるのではないかと懸念もありますので、上げるというのは難しいのではないかと考えています。

今まで各委員から意見をいただきましたが、私も据え置きがよいのではないかと思います。

(委員) 総合的見直しで職員の給料が約2%下がるということでしたが、職員は下がるが、特別職はそのままでということですね。職員と特別職では違うから単純に比較はできませんが、職員の給料は人事院勧告の総合的見直しで民間の全国平均等を検討して約2%下がるということでしたね。

(委員) 民間の従業員が500人以上の企業と比較しての人事院勧告だと思えますが、500人いる会社と一緒にするのはおかしいという気がします。本来、3人、5人の会社がこの辺では多い。大企業と比較してもどうなのか。年間200万円以下で生活している人も多い。ただ、いろいろと勉強して市役所へ入ったのだらうから、それなりの給料も当然支給するべきでしょうし、なかなか難しいとは思いますが。

話が逸れますが、先ほど退職金のことを聞きましたが、市の職員の退職金制度や共済制度は、手厚過ぎるのではないかと感じます。この会は、市の職員の給料等を定める会ではないので余談ですが。

(会長) この審議会は、特別職と議員の報酬の審議会ですが、意見として承ります。他に特別職の報酬について意見はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

(会長) ないようでしたら、委員それぞれの意見にありましたとおり、据え置きということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(会長) 市長、副市長、教育長の特別職の報酬については、審議の中で据え置きということで本会では決定いたしました。

(委員) 据え置きということですが、今実施されている自主カットが続くかどうかはわからないのですか。

(会長) 自主カットについては、今の市長等の意思です。

(事務局) 独自削減については、今のところ条例で決まっております、現職の任期中は引続きます。

(会長) 給料そのものは審議会で決め、今回は据え置きですが、自主削減するかどうかは、特別職の方が決めるということです。

(委 員) 審議会で審議するというわけではないわけですね。

(会 長) 独自削減については、審議会で決めることはありません。

(委 員) 市長も職員があれだけ減るんだったら、いろいろ考えてくれるでしょうと期待をしています。

(会 長) 続いて、市議会議員の関係の審議にうつります。

議長、副議長、一般の議員について、先ほど説明がありましたが、それぞれの議員報酬を再度確認していただきたいと思います。県下の状況等を見ても高いほうではないとは思いますが。議員が1年間でどの程度活動しているのかという資料もありました。そういったことも含めて、審議をしていただきたいと思います。

最近では、平成25年に引き下げをしているようです。何か意見・質問はありますか。

(委 員) 政治が成熟した先進国だと、ボランティアというか、イギリスなどはそういう形で議員になる方が多いようですから、報酬は目的ではなく、地域のために汗をかくという形で政治参加することが多いと聞いています。

ただ、日本ではそうではなく、やはり職業的な政治家というのが多いのですが、この報酬が多いか少ないかについては、なかなか判断しにくい。

伊予市の場合、年間でボーナスを含めて500万円を切る中で議員の労働内容等を検討するわけで、この議員の活動実数での500万が多いか少ないかの話になるのでしょうか。けれども職業としては、なかなか議員だけで食べていくのは、特に若い子ではしんどいのではないかという気はします。ただそれも財政状況等現状を見ると、引き上げたらどうかという話にはなかなかならない。無責任に上げた方がよいと言ってあげたいのですが、それは無理だと感じます。一つの基準として、年間500万が多いか少ないかの議論はあるんだろうとは思いますが。

(委 員) 議長と副議長の報酬の差が随分大きい。議員の何%増しなどという形で決まっていますか。それとも、議長職は議員の給与に対して定額を増すというような形でしょうか。

(事務局) 今は、即答できかねますので、議会事務局にも調べてみます。

(委員) 議長の仕事も大変でしょうが、議長の月給が多いと感じたので。

(事務局) 議長に就任しますと、市長と付随する事業が多くなり、公式行事など年間に出席する日数も格段に増えます。そのあたりを考慮している部分もあると思います。副議長については、議長の代理ですので、そのあたりを加味しているのではないかと。

(委員) 出た日に日額いくら、という形で、選挙の時の選挙管理委員などもそうではないかと思いますが、月額制から違う形に変えていくのも一つの方法かと思います。

(会長) 先ほど特別職については決定しましたが、当初の予定ではこの審議会は2回が予定されています。しかし、皆様の意見が出尽くして決定すれば、1回でも構わないと思います。もちろん、質問や意見が今日まとまらなければ、もう一回開催をいたします。そういったところも頭に置いて質問等があれば出していただきたいと思います。

(委員) 今日の資料について、以前、事務局に事前に配付していただけたのかとお聞きしたら、事前にはしていないということでした。内容も複雑ですし、私はなかなか理解力がないものですから、あるいは聞き漏らしたりと、十分わかってないところがあるのではないかと思うわけですが、今まで審議会は毎年開いているのですか。

(会長) 毎年開催しています。

(委員) 開催状況というのは、1回の開催とか、当然、審議の中身や進行によって違うと思いますが、どんな状況ですか。

(事務局) 開催状況ですが、毎年2回の開催です。昨年は4回開催しました。内容として、昨年は特別職、議員以外に広報区長等の役職についても審議しましたので、4回実施しましたが、例年2回です。

開催については、1回で済ますことももちろん可能です。必ず2回しないといけないものではありません。

(会 長) 資料を初めて見て検討するという中では、もう少し自分の頭の中で整理をしたいということですね。

(委 員) いや、整理できるかどうかは別ですが。けれども、今日資料を見て、説明を受けた中では、もうこれ以上することはないところに来ているのではないかという気がします。

(会 長) 先ほど特別職の方は据え置きということで決定しましたが、第1回目は審議して方向を決定し、そして再度、次に最終決定するということでもよいかと思います。本当に1回だけでは、審議不足ということでもいけません。各委員の意見によって、決めたいのですが。

(委 員) 今日の審議で大体決まったので、もうこれ以上審議することは特にないのではないかと思いますでしょうか。

(委 員) 13ページについて、歳出総額に占める議会費の割合で、伊予市の場合には1%となっていて、他の市に比べても2番目に高くなっています。議会費の占める割合が高いと思います。

(委 員) 人口や財政的な数値は、県内の市の中で9番目ですが、この議会費の割合は2番目に高くなっています。理由はいろいろあるかもしれませんが、もう少し議会費を抑えてもいいのではないのでしょうか。もちろん議会費の内容は、報酬だけではないでしょうが、それでもここを見ても、報酬を上げるということにはならないと思います。

財政的にも各方面で疲弊をしている状況が続いています。先ほど農業関係について言われましたが、商業・工業も高齢化しており、後継者もいない状態が多く見られます。そして購買力も流出していることもあって、ますます厳しくなっている状況です。アベノミクスを地方へと言っていますが、なかなか地方はそれを実感できていませんし、一、二年先でも、無理だろうと推測できますので、議員報酬は、少なくともプラスにはならないという気がします。

(委員) 今の委員の意見の中で、歳出総額が伊予市は少ないですよ。それで議会費の割合が高いんだろーと思いたすが、職員数が他の市に比べて少ないということが主な原因で歳出額を抑えられているのでしょうか。職員数だけの理由ではなく、もちろん、いろいろな要素もあるとは思いたすが。

(会長) 歳出額の中身ですよ。そこがわからないと、割合の比較は難しいと確かに思いたすね。

(事務局) 議会費には、議員報酬のほか、議会や、議会事務局で使う事務費なども入っています。また、視察研修費等や、委員会の行政視察等で各委員会が独自に先進地視察に行く旅費等も入っています。議会費の占める割合については、歳出総額が下がれば基本的に議会費の割合は上がってきます。

お手元の資料に掲載されている決算の数値は、県内の決算分析ですが、目的別に歳出項目ですと議会費、総務費、民生費、衛生費、労働、農林水産業、商工、土木、消防、教育、災害復旧、公債費、その他という決算分析で公表されている数字を利用していますので、項目ごとの詳細ベースにはなっておりません。

あわせて先ほどの審議の中で、人事院勧告の資料となる民間事業所について、従業員500人以上の事業所ということで発言いただきましたが、これは平成18年の制度改正で100人以上になり、またその後50人以上と改正になりましたので、補足させていただきます。

(委員) 50人といっても大企業ですよ、伊予市だったら。中央であれば中小でしょうが、伊予市だと大から中になると思いたす。恵まれていますね。それと特別職と比べると、議員は本当に恵まれていますね。日数も仕事も少ないだろーと思われるのに、特別職の方が相当大変なのに、議員はこんなにもらって、1カ月分ぐらい返上してくれてもいい。確かに議員も人によっては大変な人もいると思いたすが。

(会長) いろいろな見解があると思いたすが、議員も地元を含めて、伊予市全体を見て今後の住みよい地域を作るために、積極的に努力している議員もいると思いたす。

(事務局) 先ほど議会事務局に確認しましたが、議長と副議長の差について、はっきりしたことは不明ですが、最初の額決定の際に周辺市町村の議長と副議長の差、割合について調べ、その平均で決定したのではないかとのことでした。その後はそれを引き継いでいるのではないかとのことです。

また、議長と副議長の仕事の内容ですが、やはり議長と副議長を比べると格段に議長の方が仕事量が多いということです。

(会長) 議員報酬についてはいろいろな見方、考え方もあろうかと思いますが、内容は据え置きか、上がるか、下げるかのどれかです。決定には非常に神経を使うと思いますが、この審議会においていずれかに決定しなければなりません。また、例えば引き下げると決定したとしても、次には引下げ率をどのぐらいにするのかというような審議になりますが、その前にまず、どうするのかという検討をお願いしたいと思います。

(委員) 議員定数はどうするか、という話は出ていないのですか。二人ぐらい。

(会長) 議員定数につきましては、ここでの審議の対象ではありませんが。

(委員) わかっております。しかし、議員定数の話が前々からあると聞いていますので、定数を減らす情報等も検討材料として持っていれば、報酬を今下げるのは少し待ってみよう、という考えになります。ですから、定数はどうなるのかなと思ひまして。議会が決めることではあります。

(事務局) 今現在、議会改革特別委員会で議論が進んでいるところです。また、新聞報道でお一人が県議選へ出馬の方向とありましたが、少なくとも実数については1名減になるのではないかと思います。定数はここでは決定できませんので。

(委員) 資料の中に増減案がありますが、これは0.1%から0.5%のマイナス幅、プラス幅ですが、これは大きな変化ではなく、金額の差もあまりないと思います。これまでも報酬は引き下げられていますが、庶民感覚からすれば、財政状況や伊予市の現状を見れば当然、ある程度の、0.何%じゃなくて、数%の減額という形も考えられますが、それはやはり議員という特別な職務でありましようから、ある程度の報酬は必要だろうと思っ

ています。私は、特別職と同じように据え置きが妥当かと思えます。

(会 長) それぞれの委員から考えを聞かせていただければ、前向きな結論が出るのではないかと思います。他の委員は、どうでしょうか。意見は今までにもいただいておりますが、その中で、場合によると引き下げるという意見もあるのかと私は感じたこともありました。

(委 員) 厳しさはありますが、議員によっては研修をしたり、汗をかいて頑張っていたりする議員もいるでしょうから、一概には言えませんが、それでも、引き上げの選択肢はないと思います。現状維持で頑張ってくださいということですかね。

(委 員) 特別職も自主減額していますから、議員も自主的に減額してほしいという希望はありますが、本来の議員の仕事というのは、地元のことや伊予市全体のことや大変な仕事です。ここは期待を込めて据え置きで。本当は、引下げ、希望としては自主減額してほしいですが、議員としてよりレベルの高い仕事をすることに期待して、現状維持でもいいという感じです。

(会 長) 私個人的にも現状維持でどうかと考えています。国も地方の活性化という方向性の中で、今後はいろいろなことが国から県へ、県から市へという流れで来るのではないかと予想できます。そのような中で議員も地域活性化で忙しくなると思っていますし、また忙しくならなければいけないと思いますが、そういったことも含め、期待も込めて、引き下げではなく現状維持でよいと思います。

委員のそれぞれの意見では、特別職と同様に現状維持ということでしたが、その中でも皆さんいろいろ思うところもあったわけですが、据置で決定ということによろしいですね。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(会 長) 特別職また議員報酬についても審議の結果、両方とも現状維持、据え置きということで一応、この審議会では決定しましたが、先ほども申しましたように、当初審議会は2回予定されていましたが、第1回目で据置と最終決定することによいか、いや、考える時間を置いて再度集まり、協議を

した方がよいと思われるのか確認したいと思いますが、どうですか。

(委員) 決定、という委員と会長の判断であれば、第1回目の開催で終了してもいいと思います。1回で最終決定するという事です。

(会長) 他の委員はどうでしょうか。例えば、この資料以外に事務局にお願いして、もっと別途の資料を提示してもらい、再度確認をしたいということであれば、第2回目を開催するわけですが、いろいろ総合的に審議を行い決定しましたので、2回までも開く必要がないということであれば、この第1回で終了です。私個人としても、十分審議を行いましたのでもう1回は必要ないと思います。

(委員) 新たな資料や新たな判断材料の希望や、疑問等があれば2回目の開催の必要性もあるかもしれませんが、この段階で委員それぞれが判断できるというのであれば、2回目の開催は、委員も職員もそれだけ時間を使いますので、この第1回目で決定するという事でよいのではないのでしょうか。

(事務局) 開催のことについて、意見をいただいておりますが、少し古い平成23年度の資料になりますが、各市の報酬審議会の開催状況というのがありまして、各市の開催状況はまちまちです。報酬審議会を平成23年度に開催するという市は伊予市を含めて5市あります。その内、1日いわゆる1回の開催と回答があった市が3市です。

(会長) 事務局から説明があったように、各市の過去の状況もあるようですが、意見が出尽くして、次回開催して協議する必要がないということであれば、今回で決定ということになりますが、それでよろしいでしょうか。

(委員) 今回の審議で結論が出た現状維持で最終決定したのでよいと思います。

(会長) 皆様方に協力していただき、審議を進めてきたわけですが、特別職の給料及び議員報酬につきましては、両方とも据え置くということで決定をし、この審議会を終了いたします。